

第36週（令和元年9月2日から9月8日まで）の集計結果

【今週の傾向】

○インフルエンザは、定点あたり1.3人で、先週（第35週 定点あたり0.1人）より増加しています。
○手足口病は、定点あたり5.6人で、先週（第35週 定点あたり6.1人）より減少しましたが、警報レベル（開始基準値：定点あたり5.0人）が続いています。

夏に流行する感染症で、感染経路は経口・飛沫・接触感染です。予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。発しんが消えた後も、3～4週間は便にウイルスが排泄されるため、手洗いを徹底し、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオルの共用を避けましょう。

○RSウイルス感染症は、定点あたり2.6人で、先週（第35週 定点あたり2.2人）より増加しました。感染経路は接触・飛沫感染です。

○ヘルパンギーナは、定点あたり2.6人で、先週（第35週 定点あたり1.6人）より増加しました。

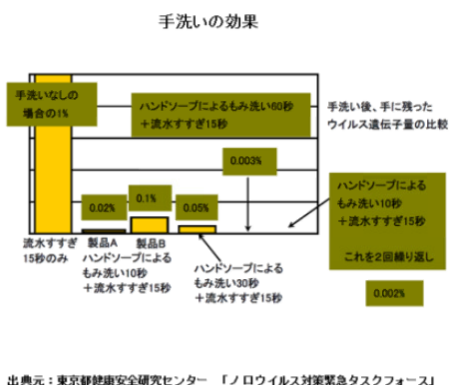
○感染性胃腸炎は、定点あたり6.7人で、先週（第35週 定点あたり4.8）より増加しました。

○百日咳の報告が2件ありました（10代男児、20代男性）。

☆家庭、通園通学先、職場等で、手洗い、咳エチケット、排泄物・吐物の適切な取り扱い（消毒）等を励行し、感染の拡大を防止しましょう。

○効果的な手洗いの方法

「石けんを充分泡立てた後すすぐ」を2回繰り返すと効果的です。



- ・第35週：8月26日から9月1日まで
- ・第36週：9月2日から9月8日まで
- ・小児科定点：八王子市内 小児科14ヶ所 都内 264ヶ所
- ・インフルエンザ定点：八王子市内 小児科11ヶ所、内科7ヶ所
- ・東京都基幹及び小児科病原体定点医療機関：都内43ヶ所

○現在、東京都では風しん、麻疹、RSウイルス感染症、手足口病の感染症に注意が必要です。

- 東京都感染症情報センター
- ・「東京都の感染症発生状況」
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/international/ja/>

○都内でRSウイルス感染症が増加しています。

- 東京都感染症情報センター
- ・「RSウイルス感染症の流行状況」
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rs-virus/rs-virus/>
- ・「感染症ひとくち情報 RSウイルス感染症の報告数が増加しています！」
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/rs-virus/hitokuchi-joho.pdf?20190808>

○都内で手足口病は減少しましたが、警報レベルが続いています。

- 東京都感染症情報センター
- ・「手足口病の流行状況」
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/handfootmouth/handfootmouth/>
- ・「感染症ひとくち情報 手足口病の報告数が増加しています！」
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/handfootmouth/hitokuchi-joho.pdf?20190704>

○都内では、風しんの届出が2019年1月から9月1日までに814件ありました。風しんに注意しましょう。

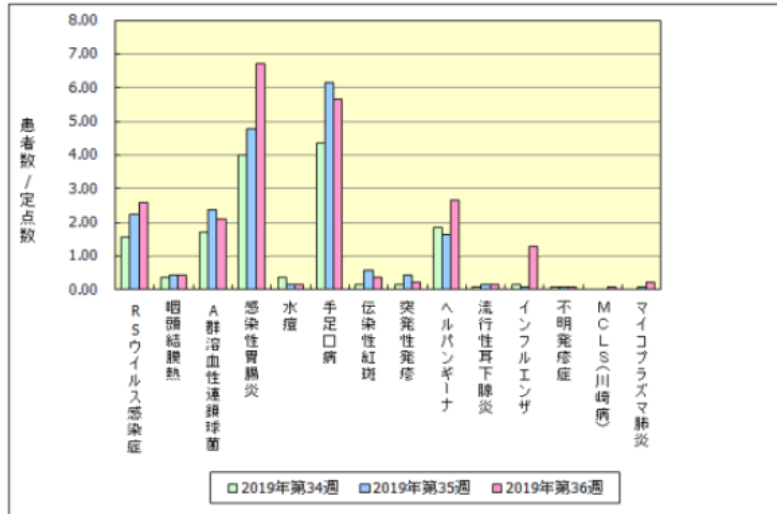
- 東京都感染症情報センター
- ・「風しんの流行情報」
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/rubella/>
- ・「感染症ひとくち情報 先天性風しん症候群（CRS）について」
http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/crs/hitokuchi-joho.pdf?20190508_2
- ・「感染症ひとくち情報 風しんに注意しましょう！」
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/rubella/hitokuchi-joho.pdf?20190405>

○海外では、日本と気候や環境衛生が異なるため、夏休みの海外旅行等の際には感染症に注意しましょう。

- 海外旅行者・帰国者のための感染症予防ガイド（東京都感染症対策課）
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/yoboguide.html>
- 海外へ渡航される皆様へ（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html
- 海外渡航者のための感染症情報（厚生労働省検疫所 FORTH）
<https://www.forth.go.jp/index.html>

第36週（令和元年9月2日から9月8日まで）の発生状況

感染症法の施行規則の改正に伴い、百日咳は平成30年1月1日から報告方法が変わり、全数報告疾患となったため、発生状況については、[風しん・麻しん・百日咳発生状況](#)をご覧ください。



第36週疾患毎発生状況グラフ

	2019年 第31週	2019年 第32週	2019年 第33週	2019年 第34週	2019年 第35週	2019年 第36週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	35 ↑	40 ↑	26 ↓	22 ↓	31 ↑	36 ↑	350
咽頭結膜熱	3 ↓	6 ↑	0 ↓	5 ↑	6 ↑	6 →	178
A群溶血性連鎖球菌	36 ↓	15 ↓	6 ↓	24 ↑	33 ↑	29 ↓	1,138
感染性胃腸炎	74 ↓	53 ↓	38 ↓	56 ↑	67 ↑	94 ↑	4,234
水痘	11 ↑	9 ↓	5 ↓	5 →	2 ↓	2 →	260
手足口病	228 ↓	128 ↓	62 ↓	61 ↓	86 ↑	79 ↓	1,643
伝染性紅斑	3 →	0 ↓	4 ↑	2 ↓	8 ↑	5 ↓	444
突発性発疹	5 ↑	3 ↓	1 ↓	2 ↑	6 ↑	3 ↓	183
ヘルパンギーナ	125 ↓	58 ↓	24 ↓	26 ↑	23 ↓	37 ↑	749
流行性耳下腺炎	3 →	1 ↓	1 →	1 →	2 ↑	2 →	70
インフルエンザ	0 →	1 ↑	2 ↑	2 →	1 ↓	18 ↑	6,936
不明発疹症	1 →	0 ↓	0 →	1 ↑	1 →	1 →	18
MCLS(川崎病)	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	1 ↑	3
マイコプラズマ肺炎	0 →	1 ↑	0 ↓	0 →	1 ↑	3 ↑	34

第36週疾患毎発生状況表

第36週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	不明発疹症	MCLS(川崎病)	マイコプラズマ肺炎
～5ヶ月	7	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	9	0	0	11	0	4	0	2	2	0	0	0	0	0
1歳	12	2	0	16	0	21	0	1	5	0	0	1	0	0
2歳	5	2	1	10	0	13	0	0	7	0	0	0	0	0
3歳	3	1	4	6	0	12	1	0	10	1	1	0	1	0
4歳	0	0	6	9	0	11	0	0	3	0	4	0	0	0
5歳	0	0	2	6	0	7	3	0	4	1	4	0	0	0
6歳	0	1	5	7	1	1	0	0	3	0	4	0	0	0
7歳	0	0	4	4	0	2	0	0	1	0	2	0	0	1
8歳	0	0	2	3	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0
9歳	0	0	3	4	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	2	8	0	2	0	0	0	0	1	0	0	2
10～12歳											1			
13～14歳											0			
15～19歳	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	0	6	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0
合計	36	6	29	94	2	79	5	3	37	2	18	1	1	3

第36週年齢別発生状況表